

あまぎ水の文化村 個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	2 2
施設所管課	文化振興課

令和2年2月

❀福 岡 県❀

あまぎ水の文化村
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
	(3) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 建物全体の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	

第1章 概要

(1) 対象施設の概要

対 象 施 設	あまぎ水の文化村		
所 管	人づくり・県民生活部文化振興課		
整 理 番 号	22	竣工年度	平成5年度
所 在 地	福岡県朝倉市大字矢野竹831		
敷 地 面 積 (m ²)	全体 160,852.51 うち県有部分 69,152.51	建築面積(m ²)	1,916.60
主 構 造	RC	延床面積(m ²)	2,595.24
主 要 建 築 物	せせらぎ館、ウォーターパレット、音楽の泉、カスケード階段等		

(2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称	せせらぎ館			
棟 番 ・ 枝 番	205	—	1	竣工年度 平成5年度
建 築 面 積 (m ²)	1,916.60		延床面積(m ²)	2,595.24
構 造 ・ 階 数	RC造 地上2階			
各 階 面 積 及 び 用 途				
階別	階床面積(m ²)	主 な 用 途 (室 名 他)		
2F	1,528.48	レストラン、事務室		
1F	1,066.76	レクチャールーム、アクアシアター、ライブラリーコーナー、実験広場、映像の森		
屋外施設	ウォーターパレット、パレット(せせらぎ館裏)、音楽の泉、カスケード階段、ふれあい噴水、芝生広場、園路、展望デッキ、せせらぎの小川、駐車場、管理棟、浄化槽棟			

あまぎ水の文化村は平成5年度に竣工しました。寺内ダム河畔にあり、アクアカルチャーゾーン(69,152.51 m²)、グリーンスポーツゾーン(71,300 m²)、水辺のふれあいゾーン(20,400 m²)で構成され、遊びながら水のありがたさや水を大切にすることを学べるテーマパークとして活用されています。アクアカルチャーゾーンは県有施設、その他は朝倉市有施設です。あまぎ水の文化村を管理運営するため、朝倉市を中心に県や福岡市水道局、民間企業等の共同出資により、平成5年に(財)あまぎ水の文化村(現(公財)あまぎ水の文化村)が設置され、県では平成18年度から当該団体を指定管理者に指定しています。

(3) 計画期間

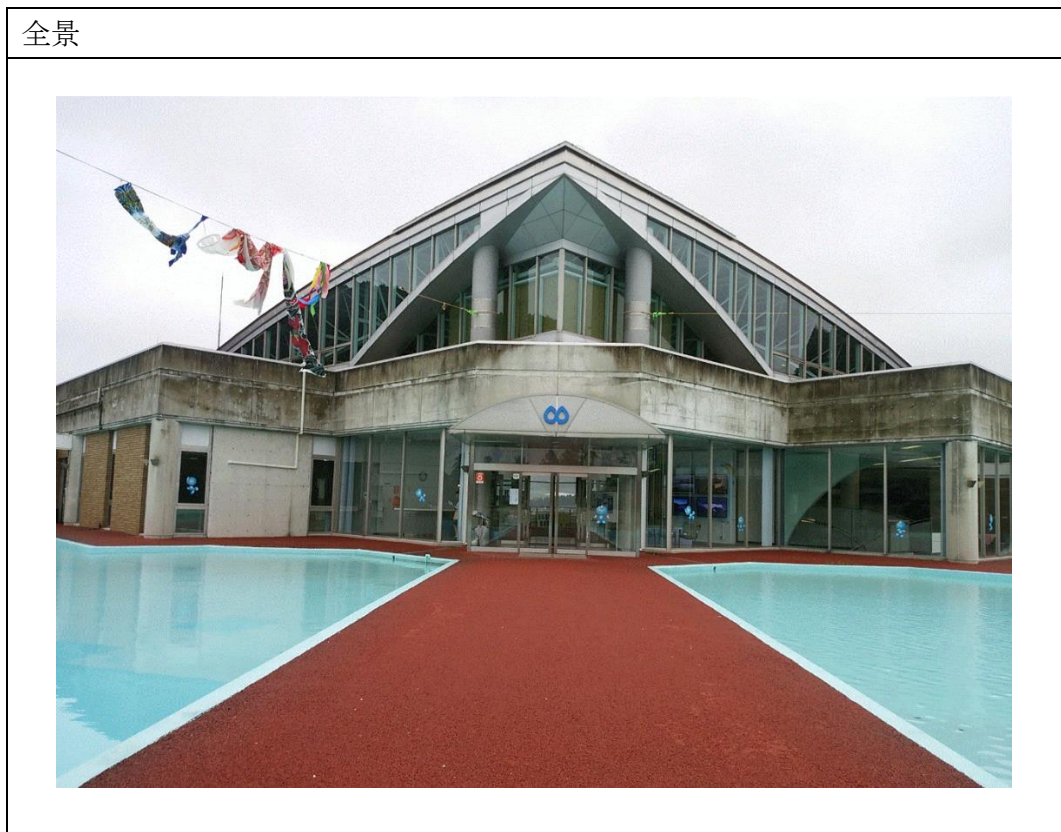
計画期間は令和8年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真



第2章 優先順位の考え方

(1) 施設間の優先順位

当該施設は、築26年で目標使用耐用年数である65年に満たないことから、計画期間中の更新は計画していませんが、電気・機械設備の経年劣化など老朽化による不具合が目立つ状況となっています。

多数の県民が利用する施設であることから、優先的に施設利用者の安全性の確保及び文化施設としての機能維持に必要な改修を行っていきます。

(2) 施設内での優先順位

施設としては鉄筋コンクリート造による一般的な建物であり、平成29年度に外壁改修や屋根の漏水防止等の工事を行っています。しかしながら、電気設備、機械設備については新築時より更新・改修を行っておらず、耐用年数を大幅に超えている状態です。

また、屋上防水や汚水処理浄化槽のほか、屋外にあるウォーターパレットや園路、音楽の泉、カスケード階段なども部分的な改修しか行っておらず劣化や不具合が生じています。

文化施設としての機能を維持するために必要なこれらの設備等の改修・更新を優先して行っていきます。

第3章 個別施設の状態等

(1) 個別施設の状態

外壁及び金属屋根については、平成29年度に改修を行っているため計画期間内における改修は不要です。空調設備や照明設備、屋上防水、汚水処理浄化槽等は耐用年数を大幅に超えているほか、部分的に事後保全による修繕を行っているだけで、定期的なウォーターパレット補修工事以外の多くが更新・改修されていない状態です。また、アクアシアター、実験広場、映像の森は機械類の故障により使用できないほか、パレット（せせらぎ館裏）は底板素材の剥離により貯水できない状態となっています。園路は劣化で凸凹となり、歩きにくい状態です。

(2) 建物全体の現存率

現存率算定表

施設名称	あまぎ水の文化村		建物名称	せせらぎ館					
所在地	朝倉市大字矢野竹831		棟番・枝番	205	-	1	築年数	26年	
建築年度	平成	5	建築面積	1,916.60 m ²		現存率	82.7	想定耐用年数	65年
構造・階数	RC	2	延面積	2,595.24 m ²					
区分	項目及び①評価率(%)		仕様		経過年数	②各部位の現存率		①×②	
構造	躯体		40	RC	26	100.0		40.0	
	小計							40.0	
主要部仕上げ	屋根・防水		20	その他	26	53.3		10.7	
	外壁		20	タイル、コンクリート H12 外壁設備更新H29 改修	2	100.0		20.0	
	小計							30.7	
	受変電設備		10		26	60.0		6.0	
	小計							6.0	
	給排水・衛生・給湯設備		10	H12 給水設備更新	19	60.0		6.0	
	小計							6.0	
		合計						82.7	

この結果、あまぎ水の文化村のせせらぎ館の現存率は、「82.7」となります。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	R C	100.0	耐震診断による Is 値 ¹	Is 値が 1.0 以上 もしくは新耐震基準
屋根	その他	53.3	防水層からの漏水 またはその痕跡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に少しずつの劣化がある ・ 多数の部材に各々少しずつ劣化部分がある ・ 部分修繕でも対応可能
			防水層の劣化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に少しずつの劣化がある ・ 多数の部材に各々少しずつ劣化部分がある ・ 部分修繕でも対応可能
			経年（新設もしくは改修後）	経年 20 年以上 （平成 29 年度に部分改修を実施）
外壁	タイル コンクリート	100.0	外壁のはく落、浮き、ひび割れ等の劣化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劣化部分が少ない ・ 汚れがある程度 ・ 新築・改修 10 年未満（平成 29 年度に改修を実施）
			漏水の発生・痕跡の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劣化部分が少ない ・ 汚れがある程度 ・ 新築・改修 10 年未満（平成 29 年度に改修を実施）
内壁	石こうボード EP モルタル EP ビニールクロス	80.0	劣化	仕上げ材等に劣化が部分的に発生しているが機能上問題なし （平成 29 年度に部分修繕を実施）
天井	石こうボード EP 化粧石こうボード	80.0		
床	ビニール床タイル張り ビニールシート張り	100.0		
建具	アルミ	90.0	劣化	特に問題なし
			開閉作動・取付け状態	仕上げ材等に劣化が部分的に発生しているが機能上問題なし
電灯・電話設備	電灯設備 電気時計 拡声設備 避雷設備 電話設備	40.0	定期点検等の結果	軽微な改善箇所の指摘があり、部分修繕が必要
			経年（新設後更新後）	経年 20 年以上

¹ Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
受変電設備	あり	60.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 25 年以上
自家発電設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—
動力設備	動力設備	20.0	経年（新設後更新後）	経年 25 年以上
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明 火災報知設備	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 15 年以上
その他設備	インターホン TV 共同受信 防犯設備等 表示設備	20.0	経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
空気調和・換 気・排煙設備	空調調和設備 換気設備 排煙設備	50.0	定期点検等の結果	軽微な改善箇所の指 摘があり、部分修繕 が必要
			経年（新設後更新後）	経年 15 年以上
給排水・衛 生・給湯設備	給排水設備 衛生設備 給湯設備	60.0	定期点検等の結果	軽微な改善箇所の指 摘があり、部分修繕 が必要
			経年（新設後更新後）	経年 10 年以上
消火設備	消火設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 10 年未満
エレベーター 設備	エレベーター設 備	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 25 年以上

○その他施設の状態

調査部位	現在の状況
ウォーターパレット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に多くの劣化がある。 ・ 経年 26 年（定期的に部分的な修繕を実施） ・ 大規模修繕が必要
パレット（せせらぎ館裏）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 底盤素材の剥離により貯水不能である。 ・ 経年 26 年 ・ 大規模改修が必要
園路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に少しずつの劣化があり、歩きにくい状態である。 ・ 経年 26 年 ・ 修繕が必要

調査部位	現在の状況
実験広場、映像の森、 アクシアター	<ul style="list-style-type: none"> ・設備と部材に劣化があり、使用不能状態である。 ・経年26年 ・大規模修繕が必要
汚水処理浄化槽	<ul style="list-style-type: none"> ・設備が劣化している。 ・経年26年 ・修繕が必要
音楽の泉	<ul style="list-style-type: none"> ・設備と部材に劣化がある。 ・経年26年 ・部分修繕が必要
ふれあい噴水	<ul style="list-style-type: none"> ・設備と部材に劣化がある。 ・経年26年 ・部分修繕が必要
カスケード階段	<ul style="list-style-type: none"> ・設備と部材に劣化がある。 ・経年26年 ・部分修繕が必要

(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
1993	26	新	—	—	—	—	65年

経年による劣化は見られるものの、建物に大きな問題が無いため、あまぎ水の文化村（せせらぎ館）の目標耐用年数を原則どおり65年（残年数を39年）と設定します。

第4章 対策の内容等

(1) 改修・更新について

築26年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は39年となり、計画期間に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

(2) 対策の平準化について

優先順位を選定の上で費用や事務負担軽減等を図る観点から平準化を行い、順次改修を行うこととします。

まずは経年劣化が激しいウォーターパレットの改修とパレット（せせらぎ館裏）の駐車場化、園路の修繕を行うとともに、耐用年数を大幅に超過し早急な対応が必要な空調・照明設備の更新、経年劣化により機器が故障している実験広場等の撤去と貸館スペースの設置により、利用者の利便性、安全性を高めます。

それに引き続き、老朽化の見られる屋上防水、汚水処理浄化槽、音楽の泉等の改修を行います。

さらに、これらの設備以外についても順次改修を行います。

(3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取組みは以下のとおりとなりますが、取組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

(百万円)

区分	項目	実施時期			計
		令和1～3年度	令和4～6年度	令和7～8年度	
主要部 仕上げ	屋根・防水、内壁、天井、建具	0	35	75	110
電気設備	電灯・電話設備、自家発電設備、動力設備、非常用照明・火災報知設備、その他の設備	22	126	22	170
機械設備	給排水・給湯・ガス設備、空気調和・排煙設備、消火設備、エレベーター	120	57	8	185
その他	ウォーターパレット、園路、音楽の泉等	71	21	0	92
	計	213	239	105	557

※上記は実際の前算や事業費等とは異なります。